

第 48 回

全国消防救助技術大会

ゆう き
勇鬼

～桃太郎のまち岡山から新たな伝説を～



主催／一般財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



ゆうき 勇鬼

～桃太郎のまち岡山から新たな伝説を～

令和元年8月25日(日)

陸上会場 岡山市消防教育訓練センター

水上会場 岡山市立市民屋内温水プール

イベント会場 岡山ふれあいセンター



この大会は、人命救助という崇高な理念の下、各都市において鍛え抜かれた消防救助技術を披露するとともに、様々な災害に対応する救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、全国の救助隊員が一堂に会し、競い、そして学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として、昭和四七年に東京都で第一回大会を開催してから、今年で四八回目を迎えました。

大会当日は、連日の曇り空が嘘のように好天に恵まれ、全国の救助隊員が集い、多くの来賓と市民をお迎えして、第四八回全国消防救助技術大会が盛大に挙行されました。

午前九時〇〇分、陸上会場では岡山市消防音楽隊の演奏に合わせて、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された隊員が入場し、岡山大会実行委員長である岡山市消防局長の開会宣言で大会の幕が上がりました。

陸上会場での開会式では、初めに消防の使命達成のために殉職された消防職員の御霊に対し、黙とうが捧げられました。国旗・大会旗の掲揚後、大会会長である一般財団法人全国消防協会会長の挨拶があり、開催地である岡山市長の挨拶、続いて消防庁長官、公益財団法人日本消防協会会長、法務大臣、岡山市議会議長からご祝辞をいただきました。続いて北九州消防局長による審判長指示が行われました。最後に陸上での出場隊員を代表して岡山市消防局の村中隊員が隊員宣誓を行いました。

時を同じくして、水上会場での開会式では一般財団法人全国消防協会副会長である、名古屋消防長による開会宣言が行われ、黙とうに続いて国旗注目、水上の部の審判部長である尾道市消防局長より審判部長指示があり、水上の部の出場隊員を代表して岡山市消防局の日高隊員が隊員宣誓を行いました。

隊員宣誓では、昨年の平成三〇年七月豪雨の影響を受けた方々に、勇気や活力、希望を与えられるよう、「全国からの支援に対する感謝」や「大災害に対しても決して諦めず立ち向かう心」そして「市民に寄り添う力強い消防の姿」を、精神一到の想いを込めて訓練で表現する旨の力強く素晴らしい宣誓が行われ、会場からは多くの拍手が送られました。

午前一〇時二〇分、陸上会場では岡山市消防局の選抜隊員による『豪雨災害により河川が氾濫、二階まで冠水した民家の屋根の上に、要救助者四名が取り残されている現場からの

救出』をテーマにした技術訓練が行われました。隊長の的確な指示命令を基に、岡山市消防局考案のライフジャケット型縛着器具を使用した「コンバートレスキューシステム」を用いて迅速に要救助者を救出しました。救助技術もさることながら、手話を用いた災害弱者に配慮する対応など、全国的に求められる消防活動の課題を気づかせてくれる素晴らしい訓練でした。

各会場での各訓練種目において、隊員は大会スローガンとサブタイトルの『勇鬼』桃太郎のまち岡山から新たな伝説を』をそのままに、人命救助に向かう勇ましい鬼となって訓練を行うことで「全国からの支援に対する感謝」を体現していました。また、観覧席から隊員に送られた歓声や激励は「大災害に対しても決して諦めず立ち向かう心」そして「市民に寄り添う力強い消防の姿」への期待の表れのようにも感じられました。

訓練の締めくくりとして、陸上会場では中国地区支部を代表し、東広島市消防局の選抜隊員が『土砂崩れに巻き込まれた家屋と住民が低所に流された現場からの救出』をテーマに、また、水上会場では近畿地区支部を代表し神戸市消防局の選抜隊員が『高潮により、約一・五m冠水した道路に車両が水没し、車内に要救助者一名が取り残されている現場からの救出』をテーマに、それぞれ創意工夫を凝らした救助技術を披露しました。趣向を凝らした訓練想定と高度な救助技術について細部にわたるまで吸収しようと、救助隊員は真剣なまなざしで訓練に見入っていました。

また、本大会と同時に開催した市民イベントでは、防災体験エリア、防災・減災まなびのエリア、消防車両展示エリア等様々なイベントが催され、参加された市民からは、楽しみながら防災を知ることができ、防災に関する意識が高まったという声が多く聞かれ、防災意識の向上に繋がる大きな成果となりました。

閉会式では、陸上会場において大会会長が各種目の入賞者を表彰し、訓練の講評を行い、国旗降納に続いて、大会旗が岡山市消防局長から次期開催地の北九州消防局総務部長に引き継がれました。最後に、岡山市消防局長が閉会を宣言し、第四八回全国消防救助技術大会は幕を下ろしました。

残暑が続く暑さの中、多くの来賓と市民の皆様にご来場いただき、成功裏に大会を終えることができました。岡山市消防局の皆様をはじめ、大会運営にあたられた全ての方々に対し、心より感謝申し上げます。



挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 安藤 俊雄

一般財団法人 全国消防協会会長の安藤でございます。第四八回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多用の中、林崎消防庁長官、秋本日本消防協会会長、また、ご当地からは佐藤岡山県副知事、浦上岡山市議会議長をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことに心から御礼申し上げます。

我が国の消防救助技術は、災害現場における幾多の試練や教訓に学びながら、隊員の皆さんの熱意と不断の努力により着実に発展を遂げてまいりました。その技術は、火災や事故あるいは自然災害の現場で十分に発揮され、緊急消防援助隊や国際消防救助隊など国内外で高い評価を得ているところであります。

また、地震、台風、集中豪雨等の自然災害が頻繁に発生する我が国において、被災地で先頭に立つて救助活動に従事する消防職員に対する地域住民の信頼と期待は、これまでに無く一層高まっております。

こうした状況のなか、本協会といたしましては、地域住民が消防に寄せる期待に力強く応えられますよう、全国の消防職員の知識・技術・活動能力の向上のために、今後も積極的に支援をしております。

本日の救助大会に臨み、参加隊の皆様におかれましては、これまでの訓練成果を十分に発揮し、それぞれの目標を達成されますことを切に期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり、格別のご支援・ご協力を賜りました大森岡山市長をはじめ、岡山市ご当局の皆様、東山岡山市消防局長をはじめ、岡山市消防局の職員の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、ご列席、ご来場の皆様ますますのご健勝を心からご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



祝辞
岡山市議会議長
浦上 雅彦



祝辞
岡山県知事
(代理：副知事)
佐藤 兼郎



祝辞
法務大臣
山下 貴司



祝辞
日本消防協会会長
秋本 敏文



祝辞
総務省消防庁長官
林崎 理



開催地あいさつ
岡山市長
大森 雅夫



次期開催地あいさつ
北九州市消防局
総務部長
橋本 武彦



審判部長指示(水上)
尾道市消防局
消防局長
井上 建次



開会宣言(水上)
名古屋市消防局
消防長
木全 誠一



審判長指示
北九州市消防局
消防局長
月成 幸治



開会宣言・閉会宣言
岡山市消防局
消防局長
東山 幸生

陸上の部

ロープブリッジ渡過 (基礎訓練)



水平に展開された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。
【標準所要時間二八秒】

表彰者

- 北海道**
 - 檜山広域行政組合消防本部 前田 凌太
 - 室蘭市消防本部 老久保望夢
 - 深川地区消防組合消防本部 竹中 海渡
 - 北留萌消防組合消防本部 青柳 康平
 - とちろ広域消防局 前田 竜一
- 東北**
 - 青森地域広域事務組合消防本部
 - 鹿角広域行政組合消防本部 川上 綾
 - 久慈広域連合消防本部 山崎 雄平
 - 鶴岡市消防本部 榎谷 祐希
 - 大崎地域広域行政事務組合消防本部 佐藤 廉
 - 相馬地方広域消防本部 山村 俊

- 関東**
 - 前橋市消防局 金子 賢聖
 - 芳賀地区広域行政事務組合消防本部 馬込 泰裕
 - ひたちなか・東海広域事務組合消防本部
 - 会沢 建人
 - 深谷市消防本部 坂井佑太郎
 - 旭市消防本部 大久保一樹
 - 東京消防庁 久我 理
 - 鎌倉市消防本部 高橋浩太郎
 - 南アルプス市消防本部 山田 大地
 - 上田地域広域連合消防本部 橋詰 裕樹
 - 静岡市消防局 森 拓海

- 東海**
 - 尾三消防本部 久野 高正
 - 岐阜市消防本部 市橋勇太郎
 - 伊賀市消防本部 栗林 聖斗
- 東近畿**
 - 白山野々市広域消防本部 森下 泰成
 - 南越消防組合消防本部 高木 健志
 - 湖北地域消防本部 西堀 和樹
 - 宇治市消防本部 谷口 雄亮
 - 奈良県広域消防組合消防本部

- 近畿**
 - 伊都消防組合消防本部 和田 太五
 - 大阪府消防局 関者 高弘
 - 西宮市消防局 串田 和也
- 中国**
 - 総社市消防本部 福田 有訓
 - 井原地区消防組合消防本部 川上翔太郎
 - 鳥取中部ひるごと広域連合消防局 松原 純

- 四国**
 - 大川広域消防本部 清原 遼
 - 美馬西部消防組合消防本部 西原 尚輝
 - 大洲地区広域消防事務組合消防本部 辻 俊介
- 九州**
 - 久留米広域消防本部 榎原 大貴
 - 伊万里・有田消防本部 西村 明大
 - 県央地域広域市町村圏組合消防本部 恒成 剛志
 - 熊本市消防局 十握 将太
 - 大分市消防局 吉原 弘晃

- 宮崎県東児湯消防組合消防本部 岩村 一輝
- 指宿南九州消防組合消防本部 前川 翔太
- 比謝川行政事務組合三ノ川消防本部 名嘉真朝太

はしご登はん (基礎訓練)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。
【標準所要時間二四秒】

表彰者

- 北海道**
 - 岩見沢地区消防事務組合消防本部 下山 薫
 - 大雪消防組合消防本部 桜井 滉平
 - とちろ広域消防局 長野 天飛
- 東北**
 - 五所川原地区消防事務組合消防本部 葛西 晃聖
 - 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐々木竜之助
 - 最上広域市町村圏事務組合消防本部 井上 将太
 - 仙台市消防局 菊地 潤
 - 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 五十嵐裕幸
- 関東**
 - 石橋地区消防組合消防本部 田中 和輝
 - 小美玉市消防本部 藤井 啓介
 - 川越地区消防局 吉田 壮
 - 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 石井 折実
 - 東京消防庁 八代 夏生
 - 鎌倉市消防本部 大橋 佑也

- 東山梨行政事務組合東山梨消防本部 雨宮 翼
- 静岡市消防局 佐藤 啓之

- 東海**
 - 知多中部広域事務組合消防本部 山下 敦也
 - 三田村消防本部 三田村 悠平
 - 山崎 修平

- 東近畿**
 - 富山市消防局 井波 勇輔
 - 白山野々市広域消防本部 林 竜輝
 - 湖南広域消防局 秋井 直也
 - 奈良県広域消防組合消防本部 久保 隼
 - 和歌山市消防局 岩瀬 達則
- 近畿**
 - 姫路市消防局 山根 健嗣
- 中国**
 - 真庭市消防本部 平島 聖也
 - 広島市消防局 中野 竜平
 - 松江市消防本部 山崎 敬太

- 四国**
 - 三観広域行政組合消防本部 川崎 秀斗
 - みよし広域連合消防本部 細川 翔太
 - 幡多西部消防組合消防本部 三宅 耕平
- 九州**
 - 甘木・朝倉消防本部 猪口 祐樹
 - 唐津市消防本部 中島 憲吾
 - 松浦市消防本部 千葉 秀士
 - 熊本市消防局 園田 雄之
 - 佐伯市消防本部 實戸 裕樹
 - 日南市消防本部 樹田 昌典
 - 大隅肝属地区消防組合消防本部 奥 俊貴
 - 本部町今帰仁村消防組合消防本部 渡久地政太

ロープ応用登はん (連携訓練)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一メートル登はんする。
【標準所要時間一六秒】

表彰者

- 【北海道】**
富良野広域連合消防本部 古谷 一樹
とかち広域消防局 本多 佑生
三浦 洋貴
三浦 寛史
- 【東北】**
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 橋本 満晴
福田 貴史
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 武藤 修平
倉橋 重吾
宮古地区広域行政組合消防本部 佐藤 俊介
佐藤 雄貴
最上広域市町村圏事務組合消防本部 高橋 輝
加藤 雄介
大崎地域広域行政事務組合消防本部 森田 雄一
氏川 尚樹
須賀川地方広域消防本部 篠木 歩陸
石幡 遼
魚沼市消防本部 林 翼
山田 大介
- 【関東】**
高崎市等広域消防局 平塚 諒
高崎市消防本部 加部 将人
小山市消防本部 樋口 大樹
つくば市消防本部 竹田 邦晃
御庄 邦晃
坂本 卓也
石田 勇人
泉 良太
上尾市消防本部 泉 良太
匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 佐藤 祐輔
佐藤 尚樹
古瀬 尚樹
市橋 稜也
野下 拓将
永井 太史
茅ヶ崎市消防本部

甲府地区広域行政事務組合消防本部 横山 真人
諏訪広域消防本部 宮地 祐輝
志太広域事務組合志太消防本部 小澤 貴史
樋口 桂介
尾三消防本部 渡邊 貴史
中津川市消防本部 鈴鹿市消防本部 山本 善行
田山 善行
坂本 善行

- 【東海】**
尾三消防本部 尾三 善行
中津川市消防本部 山本 善行
鈴鹿市消防本部 田山 善行
坂本 善行
- 【東近畿】**
富山市消防局 室田 健悟
池水 隆浩
奥能登広域圏事務組合消防本部 垣内 卓史
垣内 卓史
曾良 歩夢
川端 哲司
山口 智規
奈良県広域消防組合消防本部 亀井 一真
花田 裕人
浅井 暖之
梅本 大輔
島本 慎吾
湯川 勇希
- 【近畿】**
大阪市消防局 一村 俊介
神戸市消防局 岩本 拓馬
吉田 真悟
高松 由
- 【中国】**
倉敷市消防局 田邊 直也
赤磐市消防本部 龍谷 賢吾
片山 智一
鳥取県西部広域行政管理局消防局 赤井 大樹
赤井 大樹
宮原 啓
山田 晃生
小泉 貴裕
藤田 聖嗣
三浦 翔斗
浜田市消防本部 廿日市市消防本部
廿日市市消防本部

柳井地区広域消防本部 田村 昭三
河村 駿介
仲多度南部消防組合消防本部 川木 慎
山崎 康平
山下 克快
福永 良志
敵本 良汰
田中 恭平
竹内 恭平
岩崎 智彦
岩崎 智至

表彰者

- 【四国】**
阿南市消防本部 山崎 康平
松山市消防局 敵本 良志
高知市消防局 竹内 恭平
岩崎 智彦
岩崎 智至
- 【九州】**
直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 永吉真太郎
伊万里・有田消防本部 瀬川 本気
新上五島町消防本部 廣尾 康浩
宇佐市消防本部 浦口 昌彦
伊佐湧水消防組合消防本部 竹田津進吉
糸満市消防本部 古松 政維
伊敷 上間 僚一
伊敷 圭梧



ほふく救出（連携訓練）

三人一組（要救助者を含む）で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
【標準所要時間一分一秒】

表彰者

- 【北海道】**
渡島西部広域事務組合消防本部 伊吹 翼
- 【東北】**
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 福田 雅俊
木村 裕希
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 木村 裕希
盛岡地区広域消防組合消防本部 山下 勇太郎
山下 勇太郎
高橋 芽依
佐々木 孝
宮地 承汰
高橋 伸平
小林 祐仁
小山 和貴
菅原 拓弥
安藤 和成
堀藤 拓也
木幡 拓也
志賀 虎也
大竹 雄志
渡部 元人
目黒 翔太
- 【関東】**
南那須地区広域行政事務組合消防本部 鈴木 崇昭
鈴木 崇昭
菊池 学

神戸市消防局

〔中国〕
岡山市消防局

江津邑智消防組合消防本部

〔九州〕
粕屋南部消防組合消防本部

粕屋北部消防本部

粕屋北部消防本部

人吉下球磨消防組合消防本部

松田 樹祐
西村 大輝
丸谷 哲也
岩倉 徹
山本 亮平
馬田 健太郎
多鹿 公哉
可児 達也
繪西 暢利
小西 由磨
安原 一磨
岩崎 匡浩
上木 啓輔
荒木 祐哉
麻尾 大斗
青木 貴誠
百濟 拓哉
桐明 知弘
古屋 聖人
坂井 拓士
船越 研吾
上田 和樹
山口 直輝
徳永 憲次郎
古川 哲平
岡田 裕次郎
因幡 拓悟
宮田 裕史
尾方 雅和
高田 健志
福本 武流

表彰者
五人一組（要救助者を含む）で、二人が空呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。
【標準所要時間一分九秒】

〔北海道〕
札幌市消防局

〔東北〕
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

新発田地域広域事務組合消防本部

〔関東〕
市川市消防局

野田市消防本部

浦安市消防本部

東京消防庁

池田 颯生
廣瀬 迪也
谷越 和則
田中 新
西田 新

佐々木 辰真
坂本 大匠
堀本 潤哉
中村 拓真
花野 遼太
岡本 拓也
羽田 野徹
須戸 吉隆
常木 孝祐

金子 真也
田島 誠光
田中 道智
遠藤 大堯
武田 勇気
小久保 耀太
戸塚 祐希
鈴木 裕貴
森田 恭平
荒川 正清
金林 正人
金木 正人
大塚 純也
小西 雄真
松崎 亮斗
溝上 誠人
蒲池 光平
高橋 龍平

東京消防庁

川崎市消防局

長野市消防局

〔東海〕
一宮市消防本部

尾三消防本部

〔東近畿〕
小松市消防本部

宇治市消防本部

〔近畿〕
堺市消防局

神戸市消防局

佐土原 翔平
松田 真也
林田 翔太
磯崎 佑輔
君島 敬大
神崎 竜次
廣瀬 竜次
伊藤 孝文
楠美 孝文
船山 喜郎
豊川 尚哉
新畑 尚哉
宮澤 泰穂
小林 陽介
佐藤 佑哉
堀内 達郎
後藤 遼太郎
須崎 秀太
森崎 史也
内山 隆介
宮本 直輝
若月 勇佑
石原 知輝
堀場 浩孝
福田 裕介
安里 巧翔
北井 孝平
粟井 泰伸
南出 俊貴
滝口 俊哉
中山 希
藤田 剛弘
園田 史功
新納 雅至
岡野 正嗣
牧野 正嗣
橋本 良平
松崎 翔太
松岡 翔太
新野 翔太
岩本 一穂
野田 航
瀧田 智雄

〔中国〕
岡山市消防局

岡山市消防局

〔九州〕
粕屋北部消防本部

県央地域広域市町村圏組合消防本部

宇城広域連合消防本部

障害突破（連携訓練）

松井 謙一
濱野 勝一
豊田 竜也
中原 涼佑
岩崎 智樹
阿部 亮太
田邊 祐二
玉井 寛之
馬場 大樹
岡野 龍之介
奥野 龍之介
大森 蓮
福田 圭太
飛永 雄太
嵐田 達也
古屋 翔馬
坂口 佑貴
山崎 正剛
本田 賢弥
川内 恵輔
本村 拓郎
小川 徳樹
山本 弘樹
中山 弘樹
中川 朝悟
澤田 朝悟
河崎 隼人



引揚救助（連携訓練）



障害突破（連携訓練）

五人一組（補助者を含む）で、4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

【標準所要時間二分三七秒】

表彰者

【北海道】
札幌市消防局

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
柏崎 達也 山根 郁

石巻地区広域行政事務組合消防本部
田代 龍介 立花 高史

【関東】

桐生市消防本部
川岸 航大

日立市消防本部
松井 拓也

東京消防庁
安井 仁之

東京消防庁
阿佐見 龍二

中田 恭吾 中村 篤司 西田 謙吾 竹沢 貴宏 杉山 拓哉 大野 郁哉 後藤 京祐 松尾 拓海 福島 康介 甲斐 圭博 三戸 裕明 和田 啓太 児田 徹

茅ヶ崎市消防本部

相模原市消防局

静岡市消防局

【東近畿】
金沢市消防局

京都市消防局

【近畿】
豊中市消防局

加古川市消防本部

【中国】
岡山市消防局

岡山市消防局

堀 啓太 堀 徹 堀 裕明 堀 圭博 堀 康介 堀 拓海 堀 京祐 堀 郁哉 堀 拓哉 堀 京祐 堀 拓海 堀 康介 堀 圭博 堀 裕明 堀 啓太

【四国】
松山市消防局

【九州】
筑紫野太宰府消防組合消防本部

唐津市消防本部

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

沖田 友彰 浮田 恭平 内藤 貴之 今村 凌晟 加地 龍蔵 日野 孔太 三浦 康平 江口 健太 森岡 将大 中村 拓磨 川崎 晃太郎 谷 暢雅 前田 将伸 田代 裕介 禅院 貴浩 荒巻 裕太郎 栗原 光部 櫻迫 千弦 八谷 享祐 高橋 大昇 内田 大護 古沢 大護

水上の部

基本泳法（基礎訓練）



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】
仙台市消防局
いわき市消防本部
新潟市消防局

【関東】
山武郡市広域行政組合消防本部

【東海】
千曲坂城消防本部

山田 浩貴 布施 清平 小日向 恭太 伊藤 俊輔 矢吹 将人 柏崎 尚也 西澤 大樹 犬飼 丈幾 花村 架怜 武藤 光志 野田 幸汰 三科 憂

【近畿】
神戸市消防局

【中国】
津山圏域消防組合消防本部
美若 翔多 水田 貴允 別所 寛亮

【九州】
春日・大野城・那珂川消防組合消防本部
池田 源氏 森 孝典 堀 達也

長崎市消防局
西臼杵広域行政事務組合消防本部
齊藤 豪



溺者救助（連携訓練）

三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四三秒】

表彰者

- 【東北】 仙台市消防局 高橋 典久
- 【東北】 仙台市消防局 佐々木 優希
- 【東北】 仙台市消防局 荒井 孝太
- 【関東】 川崎市消防局 矢澤 隼人
- 【関東】 川崎市消防局 福永 宏樹
- 【関東】 太田市消防本部 丸山 悟
- 【関東】 太田市消防本部 星野 壯開
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 遠藤 智也
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 佐藤 有由
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 齋藤 耕輔
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 関口 隼平
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 小川 真也
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 山口 剛仁
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 中村 佳嗣
- 【関東】 伊勢崎市消防本部 小川 奈美
- 【東海】 越谷市消防本部 高山 裕司
- 【東海】 四日市市消防本部 福田 勇心
- 【東海】 三輪 昌平
- 【東近畿】 京都市消防局 山本 洋平
- 【東近畿】 京都市消防局 田中 敬介

表彰者

- 【近畿】 堺市消防局 藤岡 雄二
- 【中国】 岡山市消防局 池畑 勇介
- 【中国】 岡山市消防局 西本 憲倫
- 【九州】 熊本市消防局 日下 直也
- 【九州】 熊本市消防局 浅井 研杜
- 【九州】 熊本市消防局 定本 聖矢
- 【九州】 熊本市消防局 伊藤 明希
- 【九州】 熊本市消防局 坂口 真基
- 【九州】 熊本市消防局 江尻 龍之介
- 【九州】 熊本市消防局 渡邊 誓亮
- 【九州】 熊本市消防局 坂井 秀明
- 【九州】 熊本市消防局 遠山 幸希



水中結索（連携訓練）

三人一組で水中の結索環境に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種類のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分四六秒】

表彰者

- 【東北】 塩釜地区消防事務組合消防本部 間枝 拓真
- 【東北】 いわき市消防本部 西村 優志
- 【東北】 いわき市消防本部 八代 治孝
- 【東北】 いわき市消防本部 鈴木 健史
- 【東北】 いわき市消防本部 鈴木 哲成
- 【東北】 いわき市消防本部 佐藤 翔太郎
- 【関東】 川口市消防局 染谷 将秀

四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四二秒】

表彰者

- 【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 吉田 航太
- 【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 下田 雅史
- 【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 関口 雄生
- 【関東】 東京消防庁 二葉 慎太郎
- 【関東】 東京消防庁 宇治川 仁人
- 【関東】 東京消防庁 望月 僚将
- 【関東】 東京消防庁 町田 洋平
- 【関東】 東京消防庁 宮本 直也
- 【関東】 東京消防庁 深野 裕輔
- 【関東】 東京消防庁 村上 敬
- 【関東】 川崎市消防局 城 敬
- 【東海】 大垣消防組合消防本部 金森 友亮
- 【東海】 大垣消防組合消防本部 長屋 吉輝
- 【東海】 大垣消防組合消防本部 戸倉 龍暉
- 【東海】 大垣消防組合消防本部 馬場 淳
- 【東近畿】 京都市消防局 三宅 裕太
- 【東近畿】 京都市消防局 日高 敬介
- 【東近畿】 京都市消防局 寺田 賢司
- 【東近畿】 京都市消防局 吉田 良輔
- 【近畿】 大阪市消防局 難波 拓人
- 【近畿】 大阪市消防局 大野 真嗣
- 【近畿】 大阪市消防局 榎本 竜也
- 【近畿】 大阪市消防局 末松 伸朗
- 【中国】 岡山市消防局 日高 尊行
- 【中国】 岡山市消防局 池嶋 史明
- 【中国】 岡山市消防局 大森 隆広
- 【中国】 岡山市消防局 末森 宏行
- 【四国】 高幡消防組合消防本部 石崎 一矢



水中検索救助（連携訓練）

【標準所要時間一分四二秒】

【標準所要時間一分四二秒】

- 【中国】 岡山市消防局 中山 大河
- 【中国】 岡山市消防局 堀江 進之介
- 【中国】 岡山市消防局 田口 恭平
- 【中国】 岡山市消防局 尾口 冬樹
- 【中国】 岡山市消防局 北島 澁太
- 【中国】 岡山市消防局 谷口 誠司
- 【中国】 岡山市消防局 野沢 叔弘
- 【中国】 岡山市消防局 口野 風斗
- 【中国】 岡山市消防局 岩崎 洋陽
- 【中国】 岡山市消防局 伊藤 将人
- 【中国】 岡山市消防局 矢吹 将人
- 【東海】 岐阜市消防本部 中村 隼大
- 【東海】 岐阜市消防本部 近藤 海玄
- 【東海】 岐阜市消防本部 武藤 光志
- 【中国】 岡山市消防局 吉野 圭佑
- 【中国】 岡山市消防局 伏見 庸史
- 【中国】 岡山市消防局 美若 和幸
- 【中国】 岡山市消防局 古坂 翔多
- 【中国】 岡山市消防局 寺崎 翔一
- 【中国】 岡山市消防局 寺崎 雄一
- 【四国】 徳島市消防局 稲崎 圭史郎
- 【四国】 徳島市消防局 近藤 知輝
- 【四国】 徳島市消防局 小林 大貴
- 【九州】 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 池田 智樹
- 【九州】 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 山口 洋平
- 【九州】 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 小野 孝大
- 【九州】 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 丸田 峻也
- 【九州】 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 菊川 浩平
- 【九州】 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 森本 紘史
- 【九州】 水俣芦北広域行政事務組合消防本部 水俣 紘史

【九州】
熊本市消防局

公文 大輔
田邊 勝巳
渡邊 誓亮
福島 悠太
城島 将徳
岡本 健佑

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

陸上の部

【中国】
岡山市消防局

今田 健介
柴山 幸範
石井 満
田村 樹伯
川上 祐基
吉永 堯

(想定内容)

豪雨災害により河川が氾濫、二階まで冠水した民家の屋根の上に、要救助者四名(大人二名、子供二名)が取り残されている。要救助者の大人二名は聴覚障害者とする。激流により民家が流される危険があり、切迫した状況下での活動となる。さらに、ボート隊は対応不可能、ヘリは架線障害があるため、救出困難な状況。救助隊は、活動限界時間を五分に設定し、要救助者四名を救出に当たる。救出に当たっては、当局が考案した「コンバートレスキューシステム」を用いた中州救助により、周囲の建物上に救出する。

【訓練の着眼点】

① 当局考案のライフジャケット型縛着器具を要救助者四名に供給し、一次確保及び吊り上げ縛着器具として使用する。ライフジャケット型にす

ることにより、要救助者自身が容易に着装することが可能であり、救出時はそのまま吊り上げることを可能にした。
② 中州救助において、短時間で多数の要救助者の救出を可能とした、当局考案の「コンバートレスキューシステム」により、要救助者四名を迅速に救出する。
③ 聴覚障害者に対して、手話を用いてコンタクトを実施する。



広島県
東広島市消防局

白石 直也
瀬戸 幸樹
高山 正健
長沼 祐太
吉田 尚志
奥田 健斗

(想定内容)

「土砂災害現場における低所からの人命救助」
現場の想定は、昨年の一七月豪雨災害とし、土砂崩れに巻き込まれた家屋と住民が低所に流された現場から要救助者を救出。

【訓練の着眼点】

① 土砂災害現場では特に足元がぬかるみ降下場所の状況も不安定であることが予想され、二次災害の発生も

考えられることから、そうした状況下でも、ただちに対応できるように、隊員は「ワイヤー梯子」を使用し、低所へアプローチをする。
② 要救助者までの道のりが、ぬかるんでいるため、三連梯子を伏せて「グランドパッド」として活用し、要救助者の元に向う。
③ はしご水平救助第一法を逆の手順で行う、「はしご水平救助逆第一法」により救出を行い要救助者をぬかるんだ場所などの危険箇所を回避しながら搬送を容易にし、また、三連はしごの撤収を同時に行う。



水上の部

【近畿】

兵庫県
神戸市消防局

石崎 親一
足立 学
林 英二
三木 博文
政田 達彦

(想定内容)

「高潮により、約一・五m冠水した道路に車両が水没し、車内に要救助者一名が取り残されている。」
自然災害で冠水した水質は、視界も悪く不安全な環境での活動になります。このような環境下で、各隊員の任務を明確に分担し、行動をシンプルにすることで、無視界でも安全を確保しながら車両内の検索ができる車両内検索要領を提案します。

また、この車両内検索要領は、海中

への車両転落事案に転用できると考えています。

【訓練の着眼点】

- ① 任務を明確に分担し、役割を簡素化する
ア 一番員は潜水班長として隊員の指揮・管理・情報の伝達
イ 二番員は検索ロープの展張を保つことに専念
ウ 三番員、四番員は車両内の検索・救出・搬送
② 安全を確保しながら無視界潜水の対応
ア 検索ロープ及び命綱のカラビナはロープが絡まった時にいつでも離脱することができる安全環なしのカラビナを使用
イ 車内検索は一名で実施し、一名は車外で安全管理を実施
ウ 無視界の車両内検索は、頭部と上肢や胸までの進入にとどめて手探りで車内を検索(車内での拘束や、検索ロープの絡まるリスクを軽減)
エ 無視界の手探り検索を実施しているため、車両側面の窓からアップロウチして検索漏れをなくす
③ 追加資器材が不要
ア 新たに車内検索用にロープを設定しなくてよい
イ ストレスの軽減
④ 二番員は検索ロープを常に展張しておく
ア 信号伝達を容易に実施
イ 検索ロープの絡まりを防止



体験イベント

消防車綱引き体験

5トンを超える消防車を、子どもたちが力を合わせて引っ張ります。引き始めは顔を真っ赤にして踏ん張っていましたが、一度動き出せばスイスイ!「よっしゃああ!!」男の子は大喜び、女の子は冷静でした。



地震体験

地震体験車を利用してリアルな地震の揺れを体験できるコーナー。「うわああ!!」挑戦した男の子は想像以上の揺れに驚愕し、余裕の笑顔が急変。大地震への備えのきっかけとなることを願うばかりです。



消火器体験

水消火器を使用し、倒す消火体験に子どもたちが挑戦。手順は簡単でも、いざ出番となると緊張してうまく操作できない子も。「的に当てるのが難しい!」大人にもたくさん参加いただきました。



なりきり消防士

消防士が着る救助服や防火衣を着てポーズ!「おもしろい!」「あつい!」「かっこいい!」子どもたちの感想は様々でしたが、お父さんお母さんは大喜び!「我慢して!」我が子の雄姿をカメラに収めていました。



放水体験

消防用のポンプとホースを使用したリアルな放水に挑戦!放水の反動が大きく、なかなか的に当てられない子どもたち。「重くて難しかった!」日常ではできない貴重な経験となっていました。



防災迷路

ダンボールで複雑に作られた迷路で、様々なミッションに挑戦するコーナー。「どこ!?!」「ここさっきも通った!」楽しみながら防災を学ぶことができ、ゴールした子どもたちは達成感に満ち溢れていました。



ダンボールクラフト

ダンボールを使用して消防車を組み上げるコーナー。難易度は少し高めでしたが、皆さん親子で熱中していました。「お父さんそれ違う!こっち!」子どもの的確な指揮で消防車が組み上がっていきました。



VR放水体験

VR(仮想現実)で放水を体験!VRの世界もとうとうここまで来ました。実際の消火活動を再現しており、子どもたちは真剣そのもの。消防隊の訓練でもできない貴重な体験に「いいなあ」と隊員。



検索救助体験

実際の訓練施設を使用して、暗闇の中から要救助者を見つけ救出!「どこですかー!?!」両手両足を使って暗闇を探る子どもたち。ダミー人形を抱えて出てきた我が子に「頼もしい!」とお母さん大喜びでした。



ロープ渡り体験

ハーネスをつけて張られたロープを渡る体験。救助大会の種目にもあり、子どもたちに大人気でした。「あんなに速く進めない!」「レスキュー隊ってすごい!」とお褒めの言葉をいただきました。



第48回
全国消防救助技術大会
〜市民インタビュー〜

青柳さんご家族と同僚

息子が大会に出場するので、北海道から家族で応援に来ました。
全国各地からこれだけ多くの人が集まっています。素晴らしい大会です。素晴らしい一言です。
消防の皆さんは普段から素晴らしい仕事をしています。こういった大会を通して、日頃の訓練が生きる現場活動をしていただければと思います。



湯浅さんご家族

妻が大会のチラシを見たことをきっかけに来ました。子どもが出初式を見て

消防が好きになったこともあり、今日は興奮しています。
こんなに大きな大会だとは知らず、びっくりしました。出場されている隊員の皆さんは本当に格好良いですね。消防士は子どもの憧れですので、ずっと格好良い存在でいてください。



野崎さんご家族

このような大会を毎年開催していることは知りませんが、瀬戸内市内の消防署で訓練を見学していた時に地元で岡山で全国大会があることを教えてもらい見に来ました。
入退場時の規律正しい姿や、機敏な動きに感心しました。
日々の訓練で鍛えられた、たくましい人ばかりで、すごい熱気を感じました。消防はとても過酷な仕事であると思います。私たちが安心・安全に生活出来ているのも消防隊員の皆さんのおかげだと思います。いざという時のための過酷な訓練、お疲れ様です。ありがとうございます。



林さん・関家さん

偶然、ポスターを見かけ大会を知り見学にきました。会場には、展示ブースや体験コーナーがたくさんあり驚いています。
住んでいるマンションの上階で火災があった際に緊迫する現場で活動する皆



さんの表情を見て、少し怖いイメージがあったのですが、今は純粹にかっこいいと思います。体つきも逞しいです。

十握さんご家族

一年越しに出場する旦那さんを応援するために、熊本から来ました。
会場の雰囲気は圧倒されて、訓練を応援した時は、震えて感動しました。
これからも、市民のために、家族のために頑張ってほしいです。カッコよかったです。





開会式の後、陸上会場において、「翔舞志 鬼々よろしく魁望蓮」によるオープニングセレモニーが行われました。翔舞志 鬼々よろしく魁望蓮は地域へのイベントにも多数参加し、地元の地域振興にも貢献されており、今年八月最初

「うじや」(翔舞志 鬼々よろしく魁望蓮)

オープニング セレモニー



の週末に、岡山市の中心市街地で開催される「おかやま桃太郎まつり」のメインイベントとして、うじや踊りを披露され優秀な成績を挙げられています。「温羅じゃ」とは、「鬼だ」の意で、岡山県南部の吉備地方に伝わる古代の鬼のことを指します。

翔舞志 鬼々よろしく魁望蓮は音楽とともに登場し、開始と同時に元気でスピード感に溢れる素晴らしいパフォーマンスを披露し、持ち前の笑顔で来場者に元気を届け、会場の雰囲気を一気に作り上げました。



「岡山市消防音楽隊」



閉会式の前、陸上会場において、岡山市消防音楽隊とカラーガード隊による消防音楽隊特別演奏が行われました。

演奏は一糸乱れぬ迫力あるものであり、カラーガード隊「ピーチフェアリーズ」の演奏にあわせた演技と素晴らしい



笑顔が来場者を魅了しました。岡山市消防音楽隊の特徴として、演奏者がすべて消防職員で構成されていて、普段は各消防署で、消防隊員、救急隊員、予防係員などの業務に勤め、週一回の訓練により演奏技術を磨き「街角に防火のハーモニーを奏でる」ことを目標に頑張っておられます。

演奏を聞いている人々に防火のハーモニーが、心地よく響いたことはいまでもありません。



AR動画配信サービスのご案内

スマートフォン、タブレットで動画を見ることができます。

ARアプリを使用して動画を見る方法は下記を参照してください。

無料ARアプリCOCOAR2のダウンロードはこちら♪

iOS版・Android版
ダウンロード



1 アプリを
ダウンロードする！



2 アプリを起動し
マーカー※をかざす！



3 動画や音楽などが
自動再生される！



※マーカー画像：スマートフォンやタブレットのカメラで読み込む画像です。
●「COCOAR2」のご使用はWi-Fi、またはLTE環境を推奨しています。
●回線混雑状況等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。

AR (拡張現実) とは…

ARとは、マーカーをスマートフォンやタブレットをかざすと動画や音楽などが自動再生されます。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険 (生命保険)

消防職員医療保険 (損害保険)

消防職員傷害保険 (損害保険)

消防職員賠償責任保険 (損害保険)

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。
消防職員とそこそご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147 (生命保険) ☎ 0120-065-988 (損害保険)

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

大会ダイジェスト

